

電球色を用いた、塗装前のボディ・プレス品の 凹凸・ひずみ検査の効率化

目視検査で
電球色の光を
試してみませんか？

多くの自動車メーカー
検査ご担当者さまに
ご満足いただいています

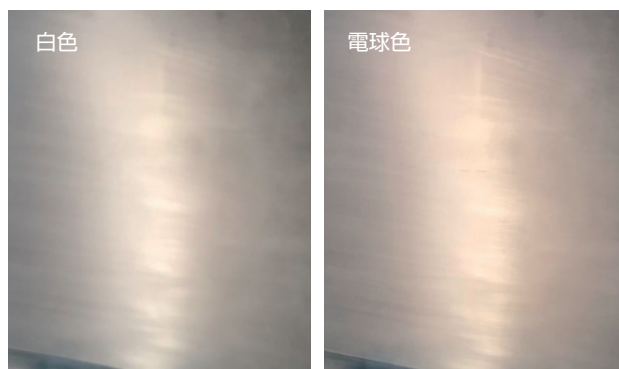
デモ検証
立ち合い
無料

某大手自動車メーカー
検査ご担当者さまの声

電球色は、まぶしくないから、 凹凸・ひずみを認識しやすい！

白色よりも温かみのある電球色の光は、白色に比べて輝度が低く、目になじみやすい光です。
通常、目視検査には白色が多く用いられていますが、Luciでは電球色での目視検査もご提案いたします。

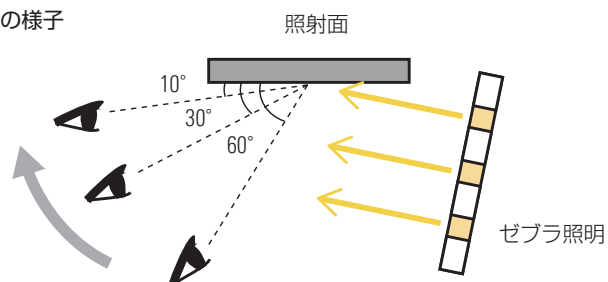
白色の光は反射率が高く、それがまぶしさの原因となり、凹凸などの不具合を見つけづらくなってしまいます。
これに対し、**電球色の光は、白色よりも反射率が低いので、凹凸などの不具合部分が暗くなり、不具合箇所として認識しやすくなるのが特徴です。**



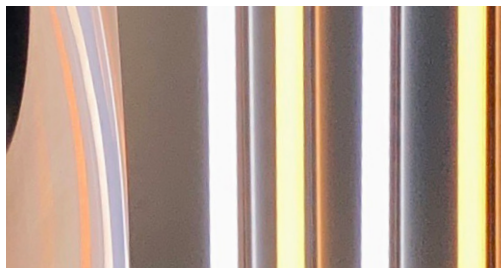
電球色×ゼブラ照明

白色と電球色を交互に配置すると、色の違いによって光の境目ができ、不具合箇所を判別しやすくなります。
イラストのように照射角度と目視の角度を変えていくと、鏡面に光をあてたときのように縞状の光が見えるようになり、肉眼で確認できるゆがみや凹凸が増え、検査の質を上げることができます。

照射の様子



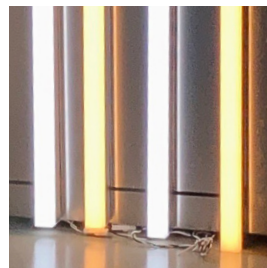
照射面
約10°からの見え方



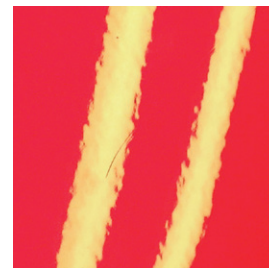
工程全体の環境を暗くすることで、他の光から受ける干渉を減らし、対象をより鮮明に目視することが可能です

ゼブラ照明

ゼブラ照明は、主に塗装完成検査工程の中で用いられる複数の光源を並べた検査照明です。
縞状の光の反射により、照射面の細かなキズやへこみを見つけやすくなることができます。



ゼブラ照明



ゼブラ照明の写り込み